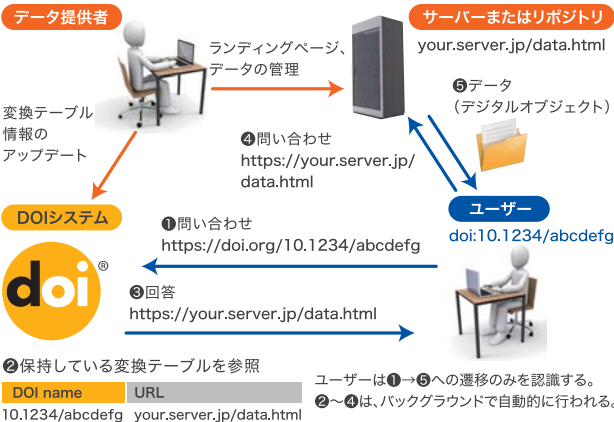


DOIとは？

- DOI(Digital Object Identifier, デジタルオブジェクト識別子)は、学術論文・図書・研究データなどのデジタルコンテンツに付与される国際的な識別子です。
- DOIはコンテンツの所在情報(URL)に変換されます。
- DOI-URL対応及びコンテンツの継続的な管理を行うことにより、恒久的なアクセスが実現されます。

DOIの働きと仕組み

- データ提供者
 - ◎ DOI-URL対応の最新情報をDOIシステムへ通知します。
 - ◎ サーバーやリポジトリから提供する、ランディングページやデータの管理を行います。研究データ用の形式でメタデータを作成します。
- DOIシステム
 - ◎ DOIとURLアドレスの一対一対応テーブルを保持します。
 - ◎ ユーザーからDOIの問い合わせがあった時にテーブルを元に対応するURLアドレスを回答します。
- ユーザー
 - ① DOIシステムに対して、DOIの問い合わせを行います。
 - ② 変換テーブルを元にDOIに対応するURLアドレスが調べられます。
 - ③④ 得られたURLアドレスへアクセスします。
 - ⑤ サーバーやリポジトリからランディングページやデータを入手します。



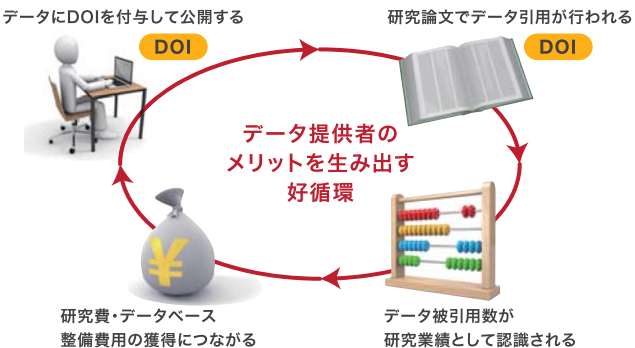
DOIを付与するのに必要なもの

- DOIの恒久性を保証するために、以下のものを継続的に管理する努力が求められます。
- ◎ サーバーやリポジトリ
- ◎ ランディングページ、データ
- ◎ メタデータ
- ◎ DOI-URL間の変換テーブル
- ◎ 費用 (JaLC年会費やデータ公開プラットフォーム利用料が発生する場合があります。)

機関リポジトリやデータ公開プラットフォームを使う場合は、規定のものが作成される。

データにDOIを付与するメリット

- データ提供者のメリット
 - ◎ DOIを付与することにより、データ「出版」として認識されるようになります。
 - ◎ DOIを用いて研究論文にデータが「引用」されることで、研究成果として評価されるようになります。
- 研究機関のメリット
 - ◎ 自機関が生成した研究資源・学術資産の管理・利用を促進出来ます。
 - ◎ 研究成果の散逸を防止することが出来ます。
- ユーザーのメリット
 - ◎ 研究資源へのアクセスしやすさ、利便性が向上します。
 - ◎ 論文と同じようにデータを引用することが出来ます。



DOI付与に関するその他の情報

- ジャパンリンクセンター <https://japanlinkcenter.org/>
- 研究データへのDOI登録ガイドライン
(研究データへのDOI登録実験プロジェクト)
https://doi.org/10.11502/rd_guideline_ja
- FORCE11データ引用原則の共同宣言(邦訳)
https://doi.org/10.11502/rdof_rdc_jddcp_ja
- IRDBデータ提供機関のためのDOI管理・メタデータ入力ガイドライン:JPACOARスキーマ編
<http://id.nii.ac.jp/1458/00000135/>

製作: 研究データ活用協議会・リサーチデータサイテーション小委員会
(Research Data Utilization Forum/Research Data Citation Subcommittee)
<https://japanlinkcenter.org/rdof/>

大向 一輝(東京大学)・尾鷲 瑞穂(国立環境研究所)・高橋 菜奈子(東京学芸大学)・能勢 正仁(名古屋大学)・村山 泰啓(情報通信研究機構・PARSEC)

〈謝辞〉本研究は、ベルモント・フォーラムの活動の一環として、JSTの支援を受けました。This research was supported by Japan Science and Technology Agency (JST) as part of the Belmont Forum.

お問い合わせ先 rd-rdc@mr.jst.go.jp

2019年12月20日作成



研究データにDOIを付与するには？

5分で分かる研究データDOI付与

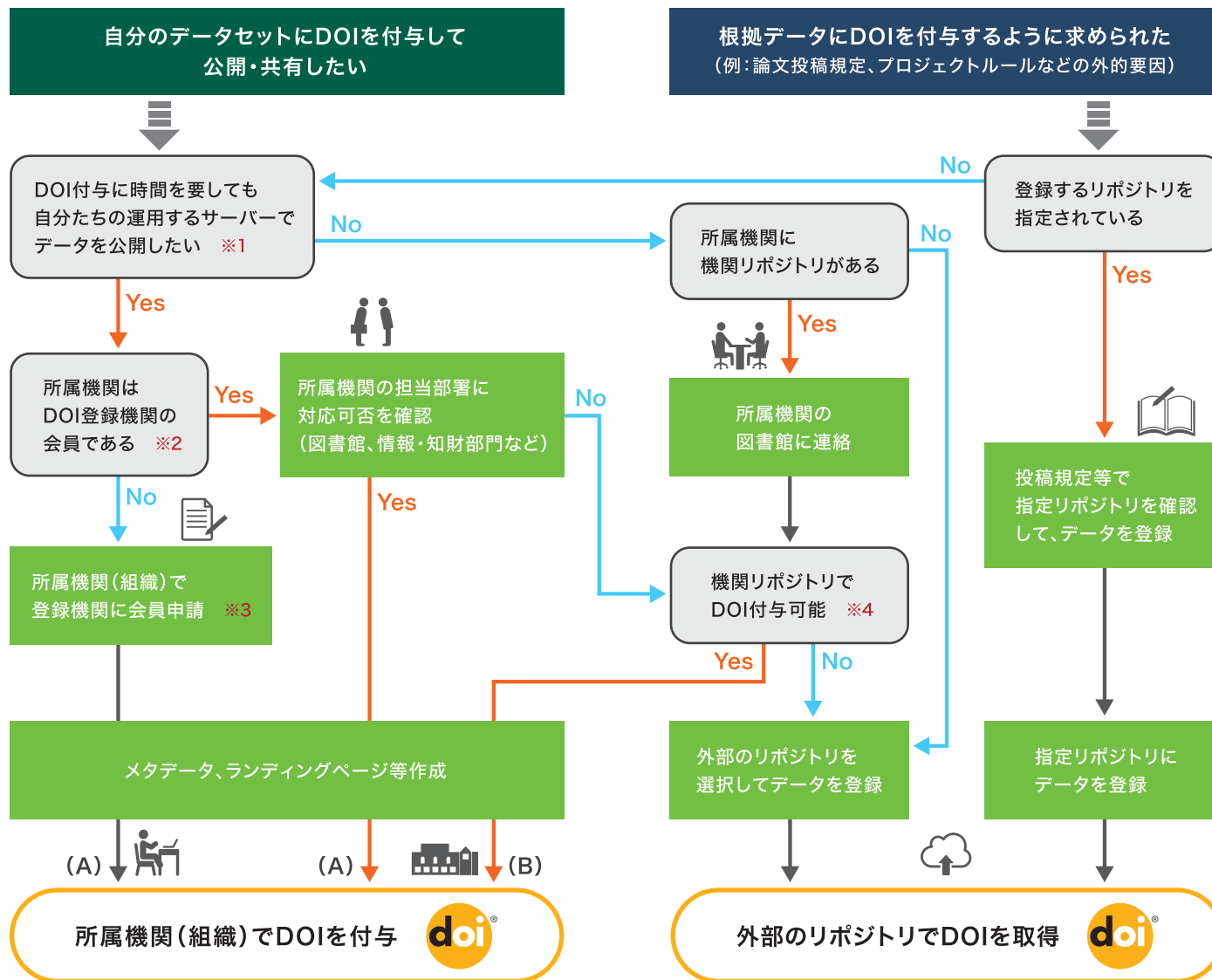


研究データ活用協議会

RDUF

Research Data Utilization Forum

研究データにDOIを付与するには？



※1 Q 自分で運用しているサーバーで、DOIを付与する際、留意しておくことはありますか。

A DOIの登録に際して、メタデータを記載したランディングページが必要です。あらかじめ、準備をしておく登録がスムーズになります。また、DOIは、永続識別子であることから、サーバーの運用やバージョン管理など、長期的な研究データ管理が出来る体制を求められる点は、留意しておきましょう。

※2 Q DOIの登録機関とは何ですか。

A 代表的な登録機関としては、DataCite(主に研究データ)やCrossref(主に論文)などがあります。日本国内唯一の登録機関「ジャパンリンクセンター(JaLC)」では、国内の大学や研究機関が多数会員です。ご所属機関が会員であるかJaLCのホームページでご確認ください。

【会員一覧】

<https://japanlinkcenter.org/top/doc/listofmembers.pdf>

※3 Q 登録機関であるJaLCの会員登録をしたいのですが。

A JaLCの「正会員」のうち「一般会員」になる手続きをする必要があります。「正会員」になるには、以下の要件をすべて満たしている必要があります。

- ◆ 日本国内の法人又は団体であること
 - ◆ JaLCの目的及び事業を理解し賛同すること
 - ◆ 原則として、次のいずれかに該当すること
 1. コンテンツを発行又は提供していること
 2. コンテンツに関する何らかの電子サービスを行っていること
- (ジャパンリンクセンター参加規約第3条1項)

また、正会員を通じてコンテンツのメタデータ等をJaLCに登録する「準会員」という制度もあります。

詳細は、JaLCのホームページをご覧ください。

【会員制度】

<https://japanlinkcenter.org/top/admission/index.html>

※4 Q 機関リポジトリで、研究データの公開やDOIが付与出来るのですか。

A 国立情報学研究所のIRDBにメタデータを提供している機関であれば、JaLC DOIを付与することが出来ます。研究データへのDOI付与が可能かどうか、詳しくは、ご所属機関の図書館にお問い合わせください。

(A) 【自分たちの運用するサーバーを利用するメリット】

◎ランディングページやデータのバージョン管理など、フレキシブルな運用が可能。

(B) 【機関リポジトリを利用するメリット】

◎メタデータの作成など、担当部署でサポートしてもらえる。

【分野別リポジトリの代表例】

GenBank, PANGAEA, NGDC, CSDなど

◎他の研究者に発見してもらいやすい。

【汎用リポジトリの代表例】

Dryad, Zenodo, figshare, Mendeley Dataなど

◎分野を問わず登録が可能。